



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶋尾 正
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 東 真一郎 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	233,832	△2.1	10,757	24.2	11,431	18.2	2,037	△50.5
27年3月期第2四半期	238,917	7.6	8,664	△18.0	9,670	△12.4	4,116	△39.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △3,005百万円(-%) 27年3月期第2四半期 10,397百万円(△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4.70	—
27年3月期第2四半期	9.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	567,439	288,034	44.1
27年3月期	588,590	292,405	43.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 250,254百万円 27年3月期 256,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	464,000	△4.1	26,000	27.4	26,500	22.0	14,000	28.6	32.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	434,487,693株	27年3月期	434,487,693株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	818,326株	27年3月期	805,395株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	433,675,505株	27年3月期2Q	433,699,343株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いてきたものの、夏場以降、中国景気減速リスクの高まりもあり、足踏み状態になってきております。輸出の伸び悩みや個人消費の弱含みなどから在庫調整が長引き、鉱工業生産もやや低調な動きとなりつつあるなど、今後の景気については不透明感が強まっております。当社グループの主要需要先である自動車も在庫調整の動きがあり、特殊鋼にも在庫調整が波及しております。また、当社の主原材料である鉄スクラップやニッケルを含め、資源価格の多くが下落しております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、市場の変化を注視し即応できる体制を取るとともに、中期経営計画の達成に向けて、お客様との共創、成長領域への注力、QCD（品質、コスト、納期対応力）競争力の強化を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、売上数量の減少や原材料価格の下落に伴う売上単価の低下等から、前年同期比50億85百万円減収の2,338億32百万円となりましたが、経常利益につきましては、主原材料である鉄スクラップ価格の下落等により、前年同期比17億61百万円増益の114億31百万円となりました。また、ソフトウェア開発中止に伴う損失を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比20億78百万円減益の20億37百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼に関しましては、主要需要先である自動車の在庫調整の動きから、構造用鋼も在庫調整局面となったこと等によって売上数量が前年同期比で減少いたしました。工具鋼に関しましては、国内・海外ともに堅調な需要が続いており、売上数量は高位横ばいを継続しております。一方、主原材料である鉄スクラップ価格は、中国鉄鋼供給過剰を背景に韓国等の海外需要が減少したことから、前年同期比で大きく下落しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少および鉄屑サーチャージによる売上単価の低下を受け、前年同期比9.6%減少の859億31百万円となったものの、営業利益につきましては原材料価格の下落やコストダウンを進めたこと等が寄与し前年同期比14億64百万円増益の20億82百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス製品は、パソコン販売低迷を受けてHDD（ハードディスクドライブ）向け需要がやや弱かったこと等から、売上数量は前年同期比で若干減少しました。磁石製品は、自動車用EPS（電動パワーステアリング）モーター向けが増加したことから、また、チタン製品は国内・海外で医療向けが堅調に推移したこと等から、売上高が前年同期比で増加しました。高合金製品は、リードフレーム用素材の需要が低迷したこと等から、また、粉末製品は、海外自動車関連が低迷したこと等から、売上高が前年同期比で減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、前年同期比2.6%増加の807億3百万円となりました。また、営業利益は前年同期比4億32百万円減益の62億71百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、民間航空機向け需要は堅調に推移しておりますが、プラント関連需要が原油価格下落の影響で低迷している等、売上高は前年同期比で微減となりました。型鍛造品は中国景気減速の影響等により、売上数量が前年同期比で減少しました。エンジンバルブは、北米自動車販売の好調を受け、受注が堅調に推移したこと等から、また、鋳鋼品・精密鋳造品は、ターボ関連需要の増加により、売上高は前年同期比で増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比0.5%増加の494億3百万円となりました。営業利益は、主原材料である鉄スクラップやニッケル価格の下落等もあり、前年同期比3億56百万円増益の7億54百万円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門は、主力製品であるSTC（Short Time Cycle）焼鈍炉の販売が好調であること等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比22.5%増加の131億80百万円、営業利益は前年同期比7億22百万円増益の10億23百万円となりました。

⑤流通・サービス

流通・サービス部門は、情報システム部門の売上高が減少したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比11.8%減少の46億13百万円となりました。営業利益は前年同期比18百万円減益の6億27百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ211億50百万円減少し5,674億39百万円となりました。総資産の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「たな卸資産」の減少42億63百万円…主として生産量の減少に伴う減少。
- ・「投資有価証券」の減少74億19百万円…主としてその他有価証券の時価評価差額減少による減少。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ43億70百万円減少し2,880億34百万円となりました。純資産額の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「その他有価証券評価差額金」の減少56億13百万円…主として保有株式の時価の下落による減少。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.1%となり、前期末と比べ0.6ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の日本経済は、緩やかな回復を続けておりますが、中国の成長鈍化懸念やそれに伴うアジア周辺国の景気後退懸念、米国の金融政策正常化に伴う景気後退懸念など、景気の先行きには不透明感が強まっています。また、新興国の減速懸念から原燃料価格も大きく下落しております。今後、当社グループに影響を与えうる注視すべきリスクとして、景気後退リスク、原燃料価格の変動リスク、為替の変動リスク、ロシアや中東地域での地政学的リスク等があると認識しております。

このような経営環境の中、当社グループは、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化に即応していくとともに、中期経営計画で目標とした海外売上高の拡大に向けての施策を着実に実施してまいります。更なる品質の向上、継続的なコスト削減への取組み、デリバリー体制の強化も行い、経営基盤となるQCD競争力の強化にも努めてまいります。

当期の連結業績につきましては、当第2四半期累計期間の業績および最新の受注動向、原材料価格等を反映させ、前回（平成27年4月30日）公表した業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)および
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による
差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変
更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示
の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度に
ついては、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載してお
ります。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)およ
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,585	34,927
受取手形及び売掛金	101,918	95,817
電子記録債権	3,087	5,174
たな卸資産	108,561	104,298
その他	10,193	9,392
貸倒引当金	△166	△169
流動資産合計	256,181	249,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,234	64,248
機械装置及び運搬具(純額)	78,830	76,534
その他(純額)	46,310	47,347
有形固定資産合計	189,375	188,130
無形固定資産		
のれん	113	88
その他	7,169	2,667
無形固定資産合計	7,283	2,755
投資その他の資産		
投資有価証券	87,812	80,392
退職給付に係る資産	39,208	39,488
その他	8,866	7,368
貸倒引当金	△137	△135
投資その他の資産合計	135,749	127,113
固定資産合計	332,408	317,999
資産合計	588,590	567,439

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,855	61,922
電子記録債務	5,184	7,684
短期借入金	27,989	32,320
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	3,883	2,885
賞与引当金	6,354	6,361
その他の引当金	780	504
その他	22,335	19,151
流動負債合計	159,382	150,830
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	77,081	73,114
その他の引当金	2,203	2,395
退職給付に係る負債	8,003	8,166
その他	29,512	24,898
固定負債合計	136,802	128,574
負債合計	296,184	279,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,437
利益剰余金	152,130	152,802
自己株式	△382	△388
株主資本合計	217,463	218,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,128	19,515
繰延ヘッジ損益	0	△3
土地再評価差額金	1,758	1,758
為替換算調整勘定	3,235	3,122
退職給付に係る調整累計額	8,434	7,839
その他の包括利益累計額合計	38,558	32,231
非支配株主持分	36,383	37,779
純資産合計	292,405	288,034
負債純資産合計	588,590	567,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	238,917	233,832
売上原価	205,760	197,833
売上総利益	33,156	35,998
販売費及び一般管理費	24,492	25,241
営業利益	8,664	10,757
営業外収益		
受取利息	101	77
受取配当金	1,039	1,147
持分法による投資利益	394	330
為替差益	158	82
その他	719	1,126
営業外収益合計	2,412	2,764
営業外費用		
支払利息	744	683
環境対策引当金繰入額	—	632
固定資産除却損	281	342
その他	380	431
営業外費用合計	1,406	2,089
経常利益	9,670	11,431
特別利益		
投資有価証券売却益	101	1,224
子会社清算益	111	—
特別利益合計	212	1,224
特別損失		
ソフトウェア開発中止に伴う損失	—	5,579
投資有価証券評価損	1,589	567
特別損失合計	1,589	6,147
税金等調整前四半期純利益	8,293	6,509
法人税、住民税及び事業税	2,606	3,284
法人税等調整額	557	△445
法人税等合計	3,164	2,839
四半期純利益	5,129	3,669
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,012	1,632
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,116	2,037

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	5,129	3,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,635	△5,684
繰延ヘッジ損益	△1	△9
為替換算調整勘定	△143	△379
退職給付に係る調整額	△269	△581
持分法適用会社に対する持分相当額	47	△20
その他の包括利益合計	5,268	△6,675
四半期包括利益	10,397	△3,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,278	△4,431
非支配株主に係る四半期包括利益	1,118	1,425

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,293	6,509
減価償却費	10,650	11,039
ソフトウェア開発中止に伴う損失	—	5,579
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	6
その他の引当金の増減額(△は減少)	△328	△84
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	205	207
受取利息及び受取配当金	△1,140	△1,224
支払利息	744	683
為替差損益(△は益)	△214	△61
持分法による投資損益(△は益)	△394	△330
投資有価証券売却損益(△は益)	△100	△1,224
投資有価証券評価損益(△は益)	1,589	567
有形固定資産売却損益(△は益)	△12	△6
有形固定資産除却損	290	346
売上債権の増減額(△は増加)	△723	4,366
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,323	3,789
仕入債務の増減額(△は減少)	7,201	△8,666
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,695	△1,180
その他	1,333	△1,421
小計	14,370	18,896
利息及び配当金の受取額	1,331	1,375
利息の支払額	△760	△678
法人税等の支払額	△3,864	△4,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,077	15,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△292	△234
定期預金の払戻による収入	576	248
有形固定資産の取得による支出	△21,476	△10,424
有形固定資産の売却による収入	27	61
投資有価証券の取得による支出	△1,666	△1,848
投資有価証券の売却による収入	133	1,773
投資有価証券の償還による収入	3,000	—
貸付けによる支出	△448	△184
貸付金の回収による収入	265	188
その他	△929	△832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,810	△11,254

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,497	△1,012
長期借入れによる収入	700	3,600
長期借入金の返済による支出	△10,740	△2,331
社債の発行による収入	10,000	—
配当金の支払額	△1,087	△1,519
非支配株主への配当金の支払額	△262	△259
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	—	△562
その他	△137	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,969	△2,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	△63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,527	1,590
現金及び現金同等物の期首残高	39,905	31,776
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	789
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,377	34,156

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	95,080	78,670	49,181	10,755	5,229	238,917	—	238,917
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	37,994	8,336	16,180	688	4,763	67,964	△67,964	—
計	133,075	87,006	65,362	11,444	9,992	306,881	△67,964	238,917
セグメント利益	618	6,704	398	300	645	8,666	△2	8,664

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	85,931	80,703	49,403	13,180	4,613	233,832	—	233,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	42,821	8,966	16,714	1,462	4,906	74,870	△74,870	—
計	128,752	89,669	66,118	14,642	9,519	308,703	△74,870	233,832
セグメント利益	2,082	6,271	754	1,023	627	10,759	△2	10,757

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料

平成27年10月30日
大同特殊鋼株式会社

平成28年3月期 第2四半期決算発表

連 結

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	27年9月 第2四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	85,931	-9,149	-9.6
機能材料・磁性材料	80,703	2,033	2.6
自動車・産業機械部品	49,403	222	0.5
エンジニアリング	13,180	2,424	22.5
流通・サービス	4,613	-615	-11.8
計	233,832	-5,085	-2.1

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	27年9月 第2四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	233,832	-5,085	-2.1
営業利益	10,757	2,092	24.2
営業外収益	2,764	351	—
営業外費用	2,089	682	—
経常利益	11,431	1,761	18.2
特別利益	1,224	1,012	—
特別損失	6,147	4,557	—
税引前純利益	6,509	-1,784	—
法人税等	2,839	-324	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,632	619	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,037	-2,078	-50.5

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	55	1. 販売数量減少	18
2. 内容構成差他	8	2. 販売価格下落	22
3. 変動費改善	6	3. 固定費の増加	8
		4. 営業外損益	4
計(a)	69	計(b)	52
		差引(a) - (b)	17

	26年9月 第2四半期	27年9月 第2四半期
H2建値 (千円/t)	28.0	19.0
ニッケル(LME) (\$/lb)	8.4	5.3
モリブデン(MD) (\$/lb)	13.2	6.7

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 27年3月末	当第2四半期 27年9月末	増減	科目	前期 27年3月末	当第2四半期 27年9月末	増減
流動資産	256,181	249,440	-6,741	負債	296,184	279,405	-16,779
現金	32,585	34,927	2,341	営業債務	78,039	69,606	-8,432
営業債権	105,006	100,992	-4,014	有利子負債	146,208	146,461	253
たな卸資産	108,561	104,298	-4,263	その他	71,937	63,336	-8,600
その他	10,027	9,222	-804				
固定資産	332,408	317,999	-14,408	純資産	292,405	288,034	-4,370
有形固定資産	189,375	188,130	-1,245	株主資本	217,463	218,023	560
無形固定資産	7,283	2,755	-4,527	その他の包括利益 累計額	38,558	32,231	-6,326
投資その他の資産	135,749	127,113	-8,635	非支配株主持分	36,383	37,779	1,396
資産合計	588,590	567,439	-21,150	負債純資産合計	588,590	567,439	-21,150

(5) 予想セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	予想 28年3月期	前期差	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	170,300	-18,824	-10.0
機能材料・磁性材料	160,000	-1,758	-1.1
自動車・産業機械部品	97,700	-1,686	-1.7
エンジニアリング	26,500	3,595	15.7
流通・サービス	9,500	-959	-9.2
計	464,000	-19,633	-4.1

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 28年3月期	前期差	
		増減額	増減率
売上高	464,000	-19,633	-4.1
営業利益	26,000	5,591	27.4
経常利益	26,500	4,770	22.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,000	3,113	28.6

(7) 予想経常利益増減要因(前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	186	1. 販売数量減少	38
2. 内容構成差他	1	2. 販売価格下落	93
3. 変動費改善	18	3. 固定費の増加	18
		4. 営業外損益	8
計(a)	205	計(b)	157
		差引(a) - (b)	48

	前期 27年3月期	予想 28年3月期
H2 建値 (千円/t)	25.3	15.5
ニッケル(LME) (\$/1b)	7.6	4.9
モリブデン(MD) (\$/1b)	11.0	5.8

(8) 設備投資額(工事ベース)および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(27年3月期)		当期(28年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	13,967	30,295	9,241	23,800	-4,725	-6,495
減価償却費	10,650	22,436	11,039	23,000	388	563

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 28年3月期
	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期	
売上高	489,154	440,428	457,731	483,633	464,000
営業利益	31,533	15,425	18,977	20,408	26,000
経常利益	31,762	16,475	20,287	21,729	26,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	22,717	10,983	12,616	10,886	14,000